

登録コード	E9138300	開講年度	2026				
授業科目	産業・組織心理学					担当教員	島田 英昭
英文授業名	Industrial and Organisational Psychology					副担当	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	
講義室	教育N102講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	公認心理師科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	産業・組織心理学に関する基礎的な知識を得ることで、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	産業・組織心理学に関する基礎的な知識を得ることで、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	演習形式を主として行う。基礎的な事項について、受講者自身が予習し、受講者同士が議論する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、産業・組織心理学の概要 第2回：採用と面接、ワーク・モチベーション 第3回：組織の情報処理とコミュニケーション、仕事の能率と安全、職場の快適性・疲労・ストレス 第4回：キャリアの展開と生涯発達、組織の変革と管理者のリーダーシップ、人事評価 第5回：消費者行動、消費者の価格判断と心的会計 第6回：消費者の意思決定過程、人間工学 第7回：産業への心理学の応用事例【遠隔等】 ※授業の進め方についての注意事項 ○受講者の人数、関心、時事的な背景に応じて内容を変更することがある。 ○教育実習等の教育学部必修に位置づけられる科目の履修により欠席する場合には、eALPSを通して申請を受ける。原則として対応する資料閲覧と自習により出席と認めるが、追加の課題提出を求めることがある。 ○授業アンケートを実施する。 ※授業に関するお願い ○授業で得られた学習データを、教育、研究、広報の目的で利用することがあります。データは匿名で扱います。学術論文等、外部で発表することがあります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○教育、研究、広報の目的で、ビデオ、写真撮影を行うことがあります。ビデオ、写真を外部に公表する可能性があります。了承できない場合には個別に連絡をお願いします。了承しないことによる成績への影響は一切ありません。 ○心理学関係の実験・調査への協力をお願いすることがあります。また、実験・調査に参加し結果を知ることの教育効果に対し、コースクレジットとして成績評価に参入することがあります。詳細は依頼時に説明します。依頼は拒否することが可能であり、参加しないことにより成績評価が不利になることがないように運用します。						
(6)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 予習・事前課題（30%）、議論への参加（40%）、振り返り（30%） ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ※産業・組織心理学に関する基礎的な知識を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】産業・組織心理学に関する基礎的な知識について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】産業・組織心理学に関する基礎的な知識について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】産業・組織心理学に関する基礎的な知識について、高い水準にある。 【その水準にある】産業・組織心理学に関する基礎的な知識について、一定水準にある。						
(8)事前事後学習の内容	●事前に教科書の指定箇所を精読し、自分の考えをまとめる。 ●授業後に議論を振り返る。 ●この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	●公認心理師資格取得希望の学生を対象とする。それ以外の学生も十分に理解できる内容であり、受講を歓迎する。ただし、希望者多数の場合は対象学生を優先し、受講制限することがある。 ●eALPSを常時利用する。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	原則としてメールで対応する。連絡先はeALPSを参照する。						
【教科書】	山口裕幸他（2020）. 経営とワークライフに生かそう！－産業・組織心理学（改訂版）－ 有斐閣アルマ						

【参考文献】	内容に応じて随時紹介する。
--------	---------------